

子どものつぶやき



2歳児のかわいいエピソードでした。

「たすけオニしょう！」(3歳児)

3歳児クラスでは後期に入り集団遊びが盛り上がり上がってきました。少し前まではタッチされると泣いたりすねたりして抜けていく姿や、わざとつかまりに来る姿がありましたが、だんだんそういった姿も減ってみんなが楽しめるようになってきました。最近はたすけオニが流行っています。友達とのきずなも深くなってきたこの頃では、保育者がオニになって次々につかまえていくと、なんとかつかまった友達を助けようと必死に向かってきます。繰り返し遊んでいく中で、正面からだけでなくこっそりオニの死角にもぐりこんで、知らない間に助け出すという技も身につけてきました。からっぽになった牢屋を見て肩を落とす保育者の顔を見て、ニヤニヤ「してやったり」という表情で盛り上がる子ども達。友達がいるからこそ盛り上がり楽しめる集団遊び。毎日朝から夕方まで暇さえあれば友達を誘いあい、時には上のクラスにも混ぜてもらいながら遊んだりしています。



街角紹介 ～地域の生き字引～

今回は御幸印刷の川知さん親子にお話を伺いました。

お父さんの昭さんは、この地で54年間印刷屋さんを続けておられます。息子さんの入園がきっかけで保育園とつながりができました。保護者と職員の文集「わ」の印刷を36年前にお願いして以来、ずっとお世話になっています。昭さんはご自身が若い時にお仕事で中国に行き敗戦を迎え、日本に帰るのに大変な苦労をされたお話もして下さり、改めて平和の大切さを感じました。また地域の歴史や状況をよくご存知で、お話を伺うと一つ一つが興味深く勉強になることばかりでした。

一方家業を継がれた次男の義和さんは、趣味でクワガタなどの昆虫を育てておられます。幼虫から大切に育てた成虫を、5年ほど前から保育園にプレゼントしてくださるようになり、虫好きの幼児達が大喜びしています。お家には虫を育てる温室もあり、温度・湿度の管理に注意しながら200匹ほどいた時期もあったそうです。夏には子どもたちの為にヘラクレスオオカブトを頂きました。子ども達は図鑑でしか見たことがない珍しい昆虫に触れることができ、また生き物の命を通して自然への関心を育むきっかけとなりました。

